

温室効果ガス削減アクションプログラム

第二計画期間

温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

操作マニュアル

【特定事業者（運送事業者）】

2024年4月

仙台市

## 目次

ツール概要 .....	1
<削減計画書作成時の操作手順> .....	2
操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順 .....	2
操作2:「事業所排出量内訳(基準年度)」シート入力時の操作手順 .....	4
操作3:「計画書①(事業所概要・目標)」シート入力時の操作手順 .....	10
操作4:「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順 .....	11
操作5:「計画書③(任意記載)」シート入力時の操作手順 .....	12
<削減報告書作成時の操作手順> .....	13
操作1:事業所排出量内訳(第1~3年度)シート入力時の操作手順 .....	14
操作2:「報告書①(事業所概要・実績)」シート入力時の操作手順 .....	17
操作3:「報告書②(取組)」シート入力時の操作手順 .....	19
操作4:「報告書③(任意記載)」シート入力時の操作手順 .....	24

## ツール概要

本ツールは、特定事業者(運送事業者)が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援します。シートへの記入方法については「事業者温室効果ガス削減計画書等作成の手引き」を参照してください。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書作成時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。

## <削減計画書作成時の操作手順>

### 操作 1: 「はじめに」シート入力時の操作手順

1. 「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画書	計画期間	2023	年	~	2025	年														
	基準年度	2022	年																	
	提出年月日		年			月				日										
届出者	法人の名称																			
	法人の所在地																			
	代表者の職・氏名																			
	代理者の職・氏名																			
該当要件	条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所																	
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量が3,000トン以上の事業所																	
	条例第2条第5号ハ	<input checked="" type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者																	
	一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者																	
事業所の概要	事業所の名称																			
	事業所の所在地	〒			-															
	産業分類番号																			
	事業の概要																			
担当者	所属部署																			
	住所	〒			-															
	氏名																			
	電話番号																			
	FAX番号																			
	Eメールアドレス																			
報告書	提出対象年度	第		年度																
	提出年月日		年			月				日										

2. 「Enter」キー押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。  
 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

計画期間	2023	年	～	2025	年	計画期間	2023	年	～	2025	年		
基準年度	2022	年				基準年度	2022	年					
提出年月日	2023	年	4	月	2	提出年月日	2023	年	4	月	2		
法人の名称	株式会社 仙台物産					法人の名称	株式会社 仙台物産						
法人の所在地						法人の所在地							
代表者の職・氏名						代表者の職・氏名							
代理者の職・氏名						代理者の職・氏名							
条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が					条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,5				
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くい 3,000トン以上の事業所					条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くい 3,000トン以上の事業所				
条例第2条第5号ハ	<input checked="" type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を					条例第2条第5号ハ	<input checked="" type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有				
一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者					一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者				

## 操作 2 : 「事業所排出量内訳 (基準年度)」 シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

**1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量**

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
揮発油 (ガソリン)				kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				km <sup>3</sup>		
その他 ( )						
水素				t		
小計						

**4.**

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者				千kWh		
昼間買電				千kWh		
夜間買電				千kWh		
その他買電				千kWh		
小計				千kWh		

**2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量**

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	
メタン (CH <sub>4</sub> )	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合計	

**3. クレジット等による削減量**

クレジット等の種類	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計	

**4. 原単位の指標**

原単位の指標 (分母)
名称
単位
数値

**5. 年度末使用車両数**

車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳	台数 (台)
トラック		EV・PHV・水素自動車	
		ハイブリッド自動車	
バス		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
		EV・PHV・水素自動車	
タクシー		ハイブリッド自動車	
		EV・PHV・水素自動車	
一般車両		EV・PHV・水素自動車	
		ハイブリッド自動車	
合計		合計	

**1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量**

熱量合計	0 GJ
原簿換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>

**2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量**

排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

**3. クレジット等による削減量**

削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量	0 t-CO <sub>2</sub>

**4. 原単位の指標**

排出原単位	0 t-CO <sub>2</sub> /
-------	-----------------------

**5. 年度末使用車両数**

石化石エネルギー自動車割合	0 %
---------------	-----

**その他の名称**

その他の名称	換算係数	排出係数

**電気事業者名**

電気事業者名	昼間買電 (千kWh)	夜間買電 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /FkWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計					

**その他買電**

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /FkWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計			

※赤枠欄へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

## 拡大図<1>

### 1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
揮発油 (ガソリン)	①			kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				千m <sup>3</sup>		
その他 ( )				t		
水素			-	-		
小計	-	-	-			

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者				千kWh		
昼間買電				千kWh		
夜間買電				千kWh		
その他買電				千kWh		
小計				千kWh		

原油換算	0 KL	
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>	
<b>2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果</b>		
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>	
<b>3. クレジット等による削減量</b>		
削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガス総排出量	0 t-CO <sub>2</sub>	
<b>4. 原単位の指標</b>		
排出原単位	0 t-CO <sub>2</sub> /	
<b>5. 年度末使用車両数</b>		
非化石エネルギー自動車割合	0 %	
その他の名称	換算係数	排出係数

①年間の使用量を燃料別に入力します。

②①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。

③②についての“使用量”“外部供給量”“単位”“熱量”“排出量”を入力します。

## 拡大図<2>

電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
④					
合計					

④契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を、貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP.8、9に示します。

※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<3>

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑤			
合計			

⑤その他買電がある場合、“買電先”“買電量”“排出係数”を入力します。

拡大図<4>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者	昼間買電				千kWh		
	夜間買電				千kWh		
その他買電					千kWh		
小 計					千kWh		

⑥④⑤の合計値が転記されます。

拡大図<5>

## 2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	⑦
メタン (CH <sub>4</sub> )	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合 計	

⑦エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、“排出量”を入力します。

拡大図<6>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑧	
合 計	

拡大図<7>

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	⑨
単位	
数値	

⑧クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“削減量”を入力します。

⑨原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

拡大図<8>

5. 年度末使用車両数

車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳	台数 (台)
トラック	⑩	EV・PHV・水素自動車	⑪
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
バス		EV・PHV・水素自動車	
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
タクシー		EV・PHV・水素自動車	
		ハイブリッド自動車	
一般車両		EV・PHV・水素自動車	
	ハイブリッド自動車		
合 計		合 計	

⑩年度末時点の車種別の車両台数入力します。

⑪全台数のうち、“EV・PHV・水素自動車”“ハイブリッド自動車”“低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車”を使用した場合、その車両台数を入力します。

⑫入力項目を確認し、次の操作に進んでください。



- ①電気事業者名入力欄へ電力会社名を入力します。
- ②「検索」ボタンをクリックします。
- ③表示された検索結果の中から、契約している電気事業者及びメニューを選択します。
- ④前述 P.6 のとおり、計画書・報告支援ツールの「事業所排出量内訳(基準年度)」シートに検索結果の電気事業者名及び排出係数の情報を転記します。

### 操作 3：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

#### 事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）

##### 1 事業者の概要

事業者の名称	①
市内代表事業所の名称	
市内代表事業所の所在地	
主たる業種	

##### 2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

##### 3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

②

①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。

②“基本方針”及び“組織体制”を入力します。

##### 4 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標

基準年度	温室効果ガスの排出の状況	基準排出量	t-CO <sub>2</sub> /基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	t-CO <sub>2</sub> /目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	%削減率	%
	非化石エネルギー自動車割合（任意入力）			
目標設定の考え方	⑦			

③事業所排出量内訳(基準年度)シートから転記されます。

④最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。

⑤基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。

- ⑥ “非化石エネルギー自動車割合”を入力します。(任意で入力)
- ⑦④で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。
- ⑧入力項目を確認して、次の操作に進んでください。

## 操作 4：「計画書②（取組）」シート入力時の操作手順

拡大図

5の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。	①	
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に行い、実施記録を残している。		
3	エネルギー使用量の把握	エネルギー使用量や走行距離を車両別に定期的に把握・記録されている。		

① 5の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

5の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	②		②	
2				

② 5の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

5の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	③	④	③	
2				

- ③ 5の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。
- ④ “具体的な取組内容”を入力します。
- ⑤入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 5：「計画書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば  
ここに貼付

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば  
ここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

対策に係る写真がある場合には、写真欄に写真を貼付します。

# <削減報告書作成時の操作手順>

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

<1>

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
揮発油 (ガソリン)				kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				m <sup>3</sup>		
その他 ( )						
水素				t		
小計						

<4>

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者				千kWh		
昼間買電				千kWh		
夜間買電				千kWh		
その他買電				千kWh		
小計				千kWh		

<5>

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	
メタン (CH <sub>4</sub> )	
一酸化二酸化炭素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合計	

<6>

クレジット等の種類	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計	

<7>

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

<8>

車種	全台数 (台)		台数 (台)
	全台数のうち下記の車種の内訳		
トラック	EV・PHV・水素自動車		
	ハイブリッド自動車		
バス	低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車		
	EV・PHV・水素自動車		
タクシー	EV・PHV・水素自動車		
	ハイブリッド自動車		
一般車両	EV・PHV・水素自動車		
	ハイブリッド自動車		
合計			

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量	0 t-CO <sub>2</sub>

4. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO <sub>2</sub> /
-------	-----------------------

5. 年度未使用車両数

非化石エネルギー自動車割合	0 %
---------------	-----

<1>

その他の名称	換算係数	排出係数

<2>

電気事業者名	昼間買電 (千kWh)	夜間買電 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計					

<3>

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
合計			

※事業所排出量内訳シート(緑色)ヘデータを入力します。赤枠欄ヘデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

## 操作 1：事業所排出量内訳（第 1～3 年度）シート入力時の操作手順

拡大図<1>

**1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量**

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
揮発油 (ガソリン)	①			kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				千m <sup>3</sup>		
その他 ( )						③
水素				t		
小計	-	-	-	-	-	-

  

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者				千kWh		
昼間買電				千kWh		
夜間買電				千kWh		
その他買電				千kWh		
小計				千kWh		

  

原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>

**2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス**

排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

**3. クレジット等による削減量**

削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量	0 t-CO <sub>2</sub>

**4. 原単位の指標**

排出原単位	0 t-CO <sub>2</sub> /
-------	-----------------------

**5. 年度末使用車両数**

非化石エネルギー自動車割合	0 %
---------------	-----

  

その他の名称	換算係数	排出係数
②		

①年間の使用量を燃料別に入力します。

②①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称” “換算係数” “排出係数” を入力します。

③②についての“使用量” “外部供給量” “単位” “熱量” “排出量” を入力します。

拡大図<2>

電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	夜間排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
④					
合計					

④契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量” “排出係数” を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を、貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方は P. 8, 9 に示します。

※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<3>

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑤			
合計			

⑤その他買電がある場合、“買電先”“買電量”“排出係数”を入力します。

拡大図<4>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気事業者	昼間買電				千kWh		
	夜間買電				千kWh		
その他買電					千kWh		
小 計					千kWh		

⑥④⑤の合計値が転記されます。

拡大図<5>

**2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量**

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	⑦
メタン (CH <sub>4</sub> )	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	
三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	
合 計	

⑦エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、排出量を入力します。

拡大図<6>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
⑧	
合計	

拡大図<7>

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	⑨

⑧クレジット等による削減量がある場合、クレジット等の種類と削減量を入力します。

⑨原単位の指標となる“数値”を入力します。

拡大図<8>

5. 年度末使用車両数

車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳	台数 (台)
トラック	⑩	EV・PHV・水素自動車	⑪
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
バス	⑩	EV・PHV・水素自動車	⑪
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
タクシー	⑩	EV・PHV・水素自動車	⑪
		ハイブリッド自動車	
一般車両	⑩	EV・PHV・水素自動車	⑪
		ハイブリッド自動車	
合計		合計	

⑩年度末時点の車両台数を入力します。

⑪全台数のうち、“EV・PHV・水素自動車”“ハイブリッド自動車”“低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車”を使用した場合、その車両台数を入力します。

⑫入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

## 操作 2：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減報告書（第二計画期間） 第 年度分

### 1 事業者の概要

事業者の名称	①
市内代表事業所の名称	
市内代表事業所の所在地	
主たる業種	

### 2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

### 3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

③

- ① 「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ② 計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ③ “組織体制”を入力します。計画書作成時より変更がない場合は「計画書①（事業所概要・目標）」シートの内容を転記してください。

4 温室効果ガスの排出の状況等

基準年度	温室効果ガスの排出の状況	基準排出量	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位 ④	t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	%	削減率	%
	非化石エネルギー自動車割合 (任意入力)				④%
第1年度	2023 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	原単位 ⑤	t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	%	削減率 ⑥	%
	非化石エネルギー自動車割合 (任意入力)				⑤%
排出量等の 増減理由	⑦				

④計画書作成時に入力した内容が転記されます。

⑤操作 1 で入力した内容が転記されます。

⑥基準の排出量及び原単位に対して各年度の削減率が表示されます。

⑦各年度の排出量の増減理由を入力します。

⑧入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

### 操作 3：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

（第1年度、第2年度又は第3年度）

#### 5の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に実施し、実施記録を残している。		
3	エネルギー使用量の把握	エネルギー使用量や走行距離を車両別に定期的に把握・記録されている。		
4	エコドライブ推進体制の整備	エコドライブ推進に関する責任者の設置、実践方法に関するマニュアルを作成するなど、推進体制を整備している。		
5	エコドライブ教育の実施	車両を運転する全社員に対するエコドライブに関する研修、教育を定期的に実施している。		
6	エコドライブ実践	エコドライブ10のすすめを実践し、チェックシート等に記録している。		
7	車両の維持管理	車両の点検・整備に関する責任者の育成等、自動車の維持管理体制が整備されている。		
8	車両の性能管理	日常及び定期的な保守・点検、修理が行われ、記録されている。		

第1年度、第2年度又は第3年度

↓

... 報告書①（事業所概要・実績）
報告書② 第1年度(取組)
報告書② 第2年度(取組)
報告書② 第3年度(取組)
報告書③

5の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的実施し、実施記録を残している。		
3	エネルギー使用量の把握	エネルギー使用量や走行距離を車両別に定期的に把握・記録されている。	①	②
4	エコドライブ推進体制の整備	エコドライブ推進に関する責任者の設置、実践方法に関するマニュアルを作成するなど、推進体制を整備している。		
5	エコドライブ教育の実施	車両を運転する全社員に対するエコドライブに関する研修、教育を定期的実施している。		

①計画書作成時の内容が転記されます。

②各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など

第1年度	③
------	---

③ 報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1	情報共有体制の整備	エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握・分析結果等を適切に社内（市内事業所間）で共有している。	実施済	実施済	実施済	
2	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	④ エネルギー使用量や走行距離を計量し、グラフ化している。エネルギー使用量等を前年度と比較して変化の理由を分析している。	未実施	一部実施済	⑤ 実施済	

④計画書作成時の内容が転記されます。

⑤各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	⑥ 自転車利用	実施済	-----	-----	
2					⑦	

⑥計画書作成時の内容が転記されます。

⑦各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

⑧入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

○ 選択対策を追加する場合の入力方法

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

① 「5 の 2 重点的に実施する取組の実施状況 (選択対策)」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

①

第2年度追加(選択対策)

- 情報共有体制の整備
- 環境性能の良い車両の計画的導入
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

②

③

③ 追加する選択対策を、プルダウン選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	情報共有体制の整備	エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握・分析結果等を適切に社内(市内事業所間)で共有している。			一部実施済
2	環境性能の良い車両の計画的導入	ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車の環境性能の優れた車両を計画的に導入している。			

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

④

⑤

○ その他の対策を追加する場合の入力方法

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			その他の対策 項目追加欄へ移動
			基準年度	第1年度	第2年度	
1						
2						

① 「5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○	
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○	
3			
4			
5			

② 追加するその他の対策をプルダウンリストから選択します。

③ その他の対策実施状況欄へ移動をクリックします。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			その他の対策 項目追加欄へ移動
			基準年度	第1年度	第2年度	
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○			実施済	
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○				
3						

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

## 操作 4：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があればここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

対策に係る写真がある場合には、写真欄に写真を貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：action\_program@city.sendai.jp

このパンフレットはリサイクルできます。「雑誌」に分別しましょう。